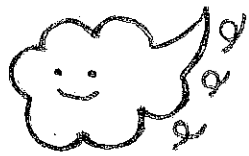


# 1月

かぜ そら たいよう


# クラスだより

## かぜぐみ



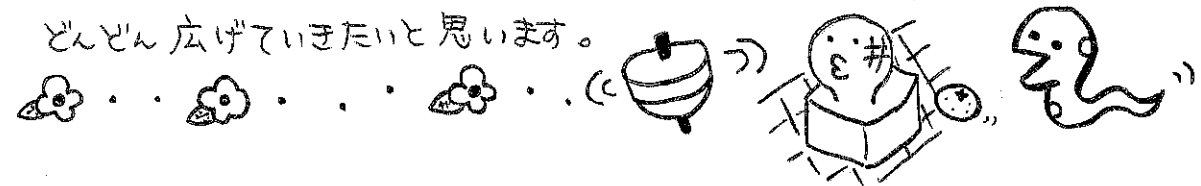
「ルールのあるあそび」〜ルールを守るからこそ楽しめるあそびがあることも知った子どもたちへ

室内あそびが大好きなかぜぐみの子どもたちは、友達とごっこあそびを楽しんでいます。そこには特にこれといったルールはなく、自由にイメージをふくらませて共有しながら展開しています。このような自由なごっこあそびの時間も、もちろん大切なのですが、集団あそびも楽しめるようになる時期なので、ルールのあるあそびも取り入れるようにしています。ルールは、ことばと重みで、視覚的に分かりやすく伝え、実際にやってみることであそびの中で楽しみながら覚えることができます。そして、最初は興味を示さなかつた子どもたちも、盛り上がっている友達の様子を見て、興味を持ち、「やりたい!」と自ら参加し、楽しんでいます。

人気の「イス取りゲーム」では、座ることができずに涙する姿もありましたが、少しずつ「つぎはすわる!」と意気込んだり、最後まで残った友だちに笑顔で拍手を送ることができるようになってきました。他にも、「フープのくくり抜け」をした時は、2人ぞ手をつないで「手は離さない」という一つのルールを決めてあそびました。次は4人。次は5人。と、どんどん人数を増やしていくことで、最終的には2グループに分かれ、ヨーイドンでくくり抜けに熱中して、達成すると「やったあー!!」と喜び合っていました。「あそび!」「はなれたあかんぞ!」  
時間が掛かっても、皆どのぞき込んで「あしあげて」「もうすこしやぞ」と声を掛け合い、力を合わせていました。この時、皆が「手を離さない」というルールを守ったから一緒に楽しめたことを伝えると、「たのしかった」「またやりたい」と口々に言っていました。

こうして一つの目標に向かって全員で力を合わせて取り組んだことは、子どもたちの、社会性の発達へとつながるとても大切な経験となっていくと思います。

他にも、フルーツバスケットやしほ取り等も取り入れ、集団あそびの幅をどんどん広げていきたいと思っています。



寒い日が 続いていますが 戸外に出ると、元気に身体を動かす子どもたちです。先日、雪が降った日には「雪ふた〜!」「つもるかた〜?」と嬉しそうでした。朝の歌では「♪雪やこんごを歌いました。 風邪や 感染症に気を付け、2月も元気に過ごしたいと思います。

2025.1.28 円町まはる保育園

## そら・たいようぐみ

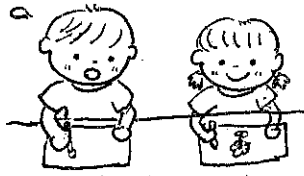
年末年始の休みが明け、登園してきた友だちに会えると笑顔で嬉しそうに迎える姿や、休みにあった楽しかったことを話す姿が見られました。



1月は 挿画で、楽しかったことを表現したり、スレポの園外保育に出かけたり、制作展に向けての制作をしたりして過ごしています。また、卒園式の歌もクラスに分かれ歌い始めました。

たいよう組はメロディーを聞いた、歌詞を口ずかす「さみしくはなれた」と涙を浮かべる子どももいます。そら組はこの1年間、一緒に過ごしてきた、たいよう組にありがとうの気持ちを込めて一生懸命覚えて歌おうとしています。日々共に過ごす中で、関わり合う姿がさらに増え、より一層関係が深まっているように感じます。一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと思っています。

## 描きたい気持ち



4、5歳児は特に絵に自信を失う子どもが増え始める時期です。上手、下手、出来る、出来ないなど自分の中の葛藤や友だちと比べてしまい、自信をなくしてしまうこともあります。こう描きたい!という願いと、自分の思い通りに描けない矛盾に気付き始めた認識の発達の一環での、反映でもあります。

友だちと関わり、響き合いながら育つ時期だからこそ、描く絵にも友だちを描く姿が多く見られるようになりまいた。

言葉ではイメージしていることを伝えられても「描くの難しい」「描けない」と苦戦する姿もありますが、上手、下手という対比的な評価ではなく、それぞれの表現の素敵さや個性的な「その子らしさ」を大切にしたいと思っています。自信を持って自分の思いを表現することが、成長してきながらこそ難しいこともあると思います。パッと見た形だけでなく、絵の中身のお話に共感し、子どもたちのありのままを見たいにしたいと思っています。\*